

ごあいさつ



組合員・利用者の皆さまにおかれましては、平素より格別なるご愛顧、お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

本年も当ＪＡに対するご理解を一層深めていただくため、主な事業の内容や組織概況、経営の内容などについて、わかりやすくまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。皆さまが当ＪＡの事業を安心してご利用いただくための一助として、ぜひご一読いただきますようお願い申し上げます。

さて、私たちを取り巻く環境はいまだ長引くロシア・ウクライナ戦争や中東での紛争など、不安定な国際情勢が続いており、国内においても各地で地震や豪雨などの自然災害が発生し、また日本銀行による政策金利の引き上げにより、金利動向や様々な経済指標の推移に注視が必要となっております。農業を取り巻く環境においては、夏の猛暑により管内の主要作物である「イチゴ」や「ワサビ」、「水稻」などの作柄に厳しい影響が出たほか、資材価格や燃油費の高騰が農業経営を圧迫しておりますが、農家組合員・生産組織の懸命な栽培管理などにより、高品質な農畜産物の生産を維持し、市場に届けることができました。また、農政の憲法と言われる「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、食料安全保障の強化や国内生産基盤の維持・強化が柱と位置づけら

れ、輸入依存を減らしながら持続可能な農業を確立していく方向性が示されました。

このような情勢のなか、令和6年度は「ＪＡふじ伊豆2か年計画～組合員とともに創造“農業と協同の未来”～」及び「自己改革工程表～持続可能な農業・地域共生の未来づくり～」の最終年度として、4つの基盤強化を実践いたしました。

生産基盤の強化では、農業振興による農家組合員の所得向上に向け、組合員との対話を通じて策定した「品目別振興計画」を実践し、持続可能な農業を目指して、農業用ドローンの活用などスマート農業の導入による生産性の向上に取り組んだほか、販売物流プラットフォームや買取販売によるファーマーズマーケットの品揃えの充実に取り組み、さらに管内産緑茶の魅力を発信するため「ふじいーず彩々 緑茶ボトル缶」の販売を開始いたしました。

事業基盤の強化では、低金利環境が続く中でも、組合員・利用者に安心してご利用いただけるよう、信用事業では、金融仲介機能の発揮と組合員・利用者との更なる関係強化に向けて各種セミナーを開催し、相続相談や資産形成相談の充実に注力いたしました。共済事業では、3Q活動による契約者フォローの充実を図り、「ひと・いえ・くるま」の総合保障提案を実践し、組合員・利用者の保障充実を図りました。

組織基盤の強化では、訪問活動の展開により組合員との接点強化を図るとともに、組合員加入促進運動の実践により、2年間で組合員数が901名純増いたしました。

経営基盤の強化では、経済環境の変化に対応するため、遊休不稼働資産の活用や処分を進め、経営の安定化を図りました。また、ＤＸ・デジタル化を推進し、業務の効率化によるコスト削減や、組合員・利用者サービスの向上にも取り組みました。

令和7年度は前2か年計画の実践結果及び地域農業やＪＡを取り巻く環境を踏まえ、組合員の意見・要望を反映した新たな3か年計画を策定しました。引き続き農家組合員の所得向上や農業振興を図るため、ＪＡと組合員・生産組織が一枚岩となって取り組む新たな「品目別振興計画」を基軸として位置づけ、生産振興とファーマーズマーケットによる販売強化を実践し、「食と農」の価値を共有する地域住民との共存共栄の実現を目指しております。少子高齢化や地域の人口減少及び社会情勢の変化に対応するため、組合員・利用者とのつながりをより強固なものとし、皆さまの営農と生活に寄与する事業活動に取り組み、総合事業の強みを発揮した、3か年計画及び自己改革工程表を実践してまいります。

これからもＪＡに求められる基本的使命と社会的責任を念頭に、信頼され安心してご利用いただけるＪＡを目指し鋭意努力してまいりますので、皆さまのより一層のご理解と更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月

代表理事組合長 梶 毅